


月日 (校時)	単元名	教材名
11月26日 (月) 5校時	修飾語	分かりやすい文章の作り方を考えよう
本時のねらい (本時 2/2) ○修飾語を使ってさまざまな文章を作り、修飾語を使うよさに気づくことができる。		
評価規準 考 修飾語を使ってさまざまな文章を作ること、修飾語を使うと文を詳しくしたり意味を定めたりできることに気付くことができる。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 14:55	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 14:57 課題把握 ・問いの共有 15:00 ・シラバス ・言語わざ ・見通し ・キーワード 15:02 自力解決 15:12 集団解決 ・班学習 15:19 ・全体学習 15:34 ・考察 まとめ 15:37	1 絵を見てどんな場面なのか考える。 ・お母さんが近くにいるところで、わたしは手紙を書いている。 ・たくさん手紙を書いている。  2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 絵を見ながら、修飾語を使ってさまざまな文章を作り、修飾語を使うよさについて説明しよう。 </div> (一人学び(10分)・班学び(7分)・学び合い(15分)・まとめ(3分)・振り返り(3分)) 「つまりを使って説明する」 「主語」「述語」「修飾語」 ◎修飾語について確認する。 「いつ」「どこで」「だれに」「どのように」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 主語 わたしは 述語 書きました ①自力解決・班学習 主語と述語は同じで、修飾語の部分に何が入るか考える。 ◎全体学習 出てきた意見から気づいたことを考え、考察で修飾語を使うよさについて考える。 </div> 3 絵を見ながら修飾語を使ってさまざまな文章を作る。 ○絵を見ながら修飾語を使ってさまざまな文章を考えましょう <u>わたしは()書きました。</u> ・わたしはきのう台所で手紙を書きました。 ・わたしは九州のおじいちゃんに長い手紙を書きました。 ・わたしはお母さんが見ている近くで手紙を書きました。 4 ノートを使って自分の考えを班で説明する。 ○班で出し合ったことを話し合ひましょう。話し合いが終わった班は、まなボードに書きましよう。 5 考えたことを伝え合う。 ○グループで考えた意見を比較してより伝わりやすいのはどの班かその理由も合わせて発表して下さい。 ・主語と述語は同じなのに修飾語の数がちがうだけで、全然伝わり方がかわってくる。 ・○○班の方が「いつ」「どこで」のキーワードの修飾語がよく使われていて分かりやすい。 ◎出てきた意見から修飾語を使うとどのようなよさがありますか。 ・修飾語が多い方がより分かりやすく絵を説明できる。 ・「いつ」「どこで」「だれに」「どのように」のキーワードの言葉を多く使うとよりくわしく説明できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 修飾語を使うとよりくわしい文章をつくることのできるよさがある。「いつ」「どこで」「だれに」「どのように」の修飾語を多く使うと分かりやすい。 </div>	・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。 ＊リーダー ・主語と述語はあらかじめ決めておくことで修飾語に目を向けることができるようにする。 ・まなボードに書くとき、「いつ」「どこで」「だれに」「どのように」のキーワードを修飾語の言葉の近くに貼っておく。そうすることで全体学習でキーワードの修飾語を使うとよりくわしくなることに気づかせる。 考 修飾語を使ってさまざまな文章を作ること、修飾語を使うと文を詳しくしたり意味を定めたりできることに気付くことができる。(ノート・発言)
【終末】 ふりかえり 15:40	6 学習したことを振り返る。	